

## 令和 7 年度開催内容

- 令和 7 年 11 月 13 日（木曜日）午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
- 多摩小平保健所にて実地開催
- 参加者 23 名（各市健康主管課、防災主管課及び災害時に避難所を所管する部署の職員等）
- テーマ「イメージしよう！発災時、何が起こる？～市民の健康を守るために必要なこと～」

## ■ 導入：「災害対応における圏域の現状と課題」（保健所による説明）

- ・ 圏域の状況、災害時の被害想定や災害時保健活動における課題等について説明

## ■ 実践：避難所運営ゲーム（HUG※）による演習

- ・ HUGを活用したグループワークにより、避難所で起こる様々な出来事への対応について検討
- ・ グループワーク後に、要配慮者への対応やトイレ、食品及びペットの取扱い等の対応に困った事例について、都及び圏域各市の地域防災計画における対応方針等を保健所から紹介

## ■ 講義：「被災地派遣の体験から -人と組織の連携力-」（保健所による講義）

- ・ 能登半島地震の被災地派遣の体験を共有するとともに、災害時の保健師の役割や職種・組織を超えた連携の必要性等について講義

※ 「H (hinanjo避難所)」、「U (unei運営)」、「G (gameゲーム)」避難所運営ゲーム  
避難者の属性が書かれたカードを適切に配置し、避難所で起こる出来事に対応する体験型ゲーム  
避難所運営者として意見交換しながら災害対応を学ぶことができる

### ● 参加者の感想

- ・ 避難所開設に際しては、避難者の来訪が続き課題が相次ぐなど慌ただしい状況で、迅速な判断が求められることを痛感した
- ・ 多くの被災者の安全を守るために、職種や組織を超えて連携し、専門職は専門性を発揮することが大切だと気付いた
- ・ 他の部署や職種の方々と対面で知識を持ち寄り、意見交換しながらゲームに取り組めたことがとても参考になった

### 研修の様子



今後も、圏域各市と連携し、円滑な災害時保健活動の実現に向けた取組を進めていく